

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-005

PDCA	事務事業名	音楽文化振興事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当	担当	竹内		
					内線等	23-7341		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第2節 生涯学習の推進						
		基本施策： 3. 文化の継承と創造						
		単位施策： (2) 文化の振興						
	根拠法令等	文化芸術振興基本法						
	対象・目的	市民に質の高い音楽文化を提供することにより、新たな音楽文化の創造や文化芸術の振興を通じ、ひとづくり・まちづくりに繋げていくとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする。						
	目的を達成するための手段・活動内容	・セントラル愛知交響楽団との間で締結した「半田市音楽文化振興に関する協定」に基づき、事業を実施する。 ・基本事業として、半田市福祉文化会館での公演会事業、小中学校でのワークショップ・アウトリーチ事業、その他音楽講座を実施する。 ・市提案事業として、幼稚園等へのアウトリーチや市事業でのオープニング演奏等を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
		①音楽文化振興事業数		49	54	60	回	
		②音楽文化振興事業参加者数		7,308	7,929	8,034	人	
		事業費		9,399	9,401	9,399	千円	
		人件費		8,246	6,121	5,589	千円	
		総事業費		17,645	15,522	14,988	千円	
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位	
		①参加者1人当たりの事業コスト		2,414	1,958	1,866	円/人	
		②						
	③							
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①音楽文化振興事業の認知度	実績値	74	75.1	68.3	%	
			目標値	70	75	80		
②音楽文化振興事業の満足度		実績値	77	83.1	87.0	%		
		目標値	80	80	80			
		実績値						
		目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	事業の評価・課題	B						
		普段、クラシック音楽に触れることのない市民が参加できるよう、市内各所でコンサートや講座を開催したことで、音楽に親しむきっかけづくりを多くの市民に提供することができた。保育園・幼稚園の演奏会や小学校のアウトリーチは教育的効果も高く、満足度も高い。また、中学校のワークショップ事業は中学校吹奏楽部の演奏技術が向上し、コンクールで県大会出場校が出るなど成果が出始めている。コンサートを始めとする事業の認知度・満足度ともに高い数値ではあるが、コンサート等への集客方法が課題である。						
		改善推進						
		今後の事業の方向性	前年度からの課題に対応するため、実施事業の時期や内容、その有効性等をアンケート等で確認しながらより良い事業の充実を図るだけでなく、音楽文化振興事業を知らない市民に音楽を届け続けることが、今後の半田市の音楽のあるまちづくりにつながることを期待して進めていく。また、音楽活動団体等や庁内他課との連携を深めながら事業を進めていく。					
			令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位
				①音楽文化振興事業の認知度			80	%
②音楽文化振興事業の満足度				86	%			
A 課題解決のための目標								